

きぼう

明石市立大久保北中学校 第2学年
学年通信 第173号(73)
令和元年12月13日(金)

一人の人間にとって最も恐ろしいのは、気がつかないということです。
学校ホームページ URL : http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/

継続は力ない、継続こそ力ない

“継続は力なり”…何度も聞いたことがある言葉だと思います。取り組みを続けることによって身につくということはよく知っていることでしょう。人間は弱いもので、なかなか一つのことを長く継続することが苦手です。好きなことは続けられても、苦手を克服するための努力の継続が難しいですね。日常、勉強や練習でよく使われています。世の中にはすばらしい実績を残している人達がありますが、始めからその実績があったわけではなく、努力の継続による賜であることは言うまでもありません。少しのことでも、長く続けていると必ず新しい発見があり、取り組み方法の改善につながります。これが自分の更なる成長につながっていくのです。“継続は力なり”、いや『継続こそ力なり』です。続けることの大切さを、今一度考えてみてください。貴方は今、継続して取り組んでいるものがありますか。すぐに求める結果は出ないけれども、続けているといつの間にか身につけている、そんな実感をぜひ味わってほしいです。

総合学習「医師・中村哲を学ぶ」

昨日の総合学習では今日4日にアフガニスタンで亡くなられた中村哲さんの動画を体育館で見ました。中村さんの医師として考えた行動がどのようなものだったのかを知ることができたのではないのでしょうか。アフガニスタンで医師として一人でも多くの命を救う方法を考え、行動した結果が『水』を手に入れることでした。『水』をより多くの人々に届けるために用水路の建設をはじめ、死の谷と呼ばれた砂漠地帯を緑豊かな土地へと大きく変化させました。砂漠から緑豊かな土地へと変化した様子を見た時には驚いたのではないのでしょうか。また、その水の豊かさは武力衝突で荒れ果てたアフガニスタンを、平和な国へと導いていました。ただ、その緑もアフガニスタンのほんの1部にしかすぎず、今のアフガニスタンの状況は最悪であると報道されています。先日の道徳の授業で学んだ「国境なき医師団」のことを振り返ると、より考えを深めることもできるのではないのでしょうか。中学生として『命と平和』についてこれからも考え、行動できる大人になってほしいです。



アフガンに中村さんの壁画 芸術団体、貢献たたえ追悼

アフガニスタン首都カブール中心部の保健省のコンクリート塀に、4日に殺害された福岡市の非政府組織(NGO)「ベシヤワール会」現地代表の医師中村哲さん(73)の貢献をたたえ追悼する似顔絵が現れた。芸術団体「アートロード」が10日、12人で完成させたという。アフガンの民族帽「パコール」をかぶった中村さんが日の丸を背景に、花々を咲かせた木々を見つめ、ほほ笑んでいる構図。「この土地で私は愛と思いやりを育む種のみを植える」と、同国の主要言語の一つ、ダリー語の詩も添えられた。

アフガニスタン首都カブールの事務所で、中村哲さんの絵について話すオメイド・シャリフィさん=11日(共同)

同団体代表のオメイド・シャリフィさん(33)は「中村さんの取り組みが未来につながるよう願ってデザインした」と説明。殺害現場となった東部ナンガルハル州の州都ジャララバードにも同様の絵を描いた。

(産経フォト12月11日より)



2学期を振り返って

◆2学期を振り返って、良かったところと悪かったところがあります。良かったところは毎日元気よくたくさんの人にあいさつができたことです。自分から先にあいさつができていたし、何度もあいさつができたから良かったと思います。2つ目は提出物を出せたことです。提出物は出して当たり前だけれど、全ての提出物を1つ1つていねいに仕上げられたので良かったと思います。

悪かった所は、けじめがつけられていなかった所です。休み時間と授業のけじめがつけられていなかったから、授業中の私語が少し多かったように思います。2つ目は言葉を選べていなかったことです。友達と話すときに少し強い言い方をしてしまったように思います。今年度もあと1学期なので、生活態度をあらためて授業中に私語をしている人に注意できるようにしていきたいと思います。

◆2学期を振り返って思ったことは、1学期の時より自分に自信ができました。1学期や2学期の始め頃は「失敗したらどうしよう」とか「めんどいなー」と思うことがありましたが、2学期には体育大会や文化祭などの大きな行事がいくつもあり、行事を行うごとに自信とやる気が増えてきました。前までは学校に行くと友達と話せるのはいいけど勉強がめんどくさいなーと思うことが多々あったけれど、病気になって休んでいるときに話す相手もいなくて、何もすることがなかった時に学校がとても大切だなと思いました。体育大会では個人の運動能力の差で勝敗が決まったけれど、文化祭は運動能力などは関係なく、クラス内での練習と個人の協力が大切で、一人ではどうすることもできず、クラスの仲間と協力する絆の大切さを改めて感じました。

3学期では2学期の経験をいかして、今の自分より大きくなれるように毎学のやり方を改めたり、生活習慣を見直していこうと思います。